

2022年4月

保護者各位

玉川聖学院

保護者向け「人間学」授業のご案内

新型コロナウイルスの蔓延は長引いていますが、皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

さて、玉川聖学院では、30年ほど前から高校の学校特設科目として、「総合科・人間学」という授業を実施してきました。毎年の授業参観の折には保護者の方々にも授業内容を公開してきましたが、ぜひ保護者対象の人間学講座を開講してほしいとの要望を毎年聞き、それに応えて1年間の「保護者向けの人間学講座」を実施してきました。

講座のテキストとして「人生の季節の中で～自分との出会い」（いのちのことば社）も出版されました。今年度もこのテキストを用いて、昨年までのものを土台に「人間学授業」を開講したいと思います。保護者のみならず、「公開授業」として誰でも参加できるようになっています。お知り合いも含め、共にご参加ください。玉聖の生徒たちが学んでいる学習内容を、皆様と共に考えていく課題を分かち合いたいと思います。また、昨年まで受講された方々を対象とする継続研修としての「読書会」も続けたいと思います。卒業生の保護者の方々も含めて、奮ってご参加下さい。

記

講座日時 金曜日 10:45～12:15

1回目	5月6日	人生の季節の中で
2回目	6月10日	誕生と成長を巡って～乳幼児期から児童期へ
3回目	7月8日	プレ思春期と思春期の課題（1）
4回目	9月9日	人生の春に～青年期の課題（2）
5回目	10月7日	大人として生きる
6回目	11月11日	生の冒険～成熟を目指して
7回目	12月2日	老いの意味
8回目	1月13日	死を考える
9回目	2月17日	生と死の狭間で
10回目	3月10日	まとめ～人生の意味を問う

場所 校内ですが、追って連絡します。（第5会議室）

費用 無料 テキスト「人生の季節の中で」（事務室にて1500円で販売）

内容 「人生の四季を生きる」（高2学習）を土台とする講義を中心に、各世代の発達の課題について考えていく。

担当 水口 洋（玉川聖学院理事・教育相談顧問）

申し込みは以下のURLまたはQRコードからFormにアクセスしていただき、各講座開講前日までにお申し込みをしておいてください。



※尚、オンラインで開催の場合、いただいたメールアドレス宛に講座開講前日までにご案内をお送りします。

2022年4月

保護者各位

玉川聖学院

保護者向け「人間学」読書会（授業）について

新年度になり少しずつ日常生活が取り戻されていますがコロナ禍の影響はしばらく続きそうです。

さて、玉川聖学院で保護者のための人間学講座は、毎年盛況のうちに実施されています。参加者のうち継続的な学びの機会として継続読書会を開始して、今までに100冊以上を読み続けてきました。この読書会は、一応、前年度までに午前中の講座に参加された方を対象としていますが、初めての方でもご参加くださればと願っています。

「人間学講座」で学んで来た内容を土台に、毎回1冊の本をテキストとして、それぞれの課題について共に考え、考察していきたいと思えます。どうぞ、奮ってご参加下さい。

記

講座日時 金曜日 13:15～15:15

- 1回目 5月 6日 福岡伸一・伊藤亜紗・藤原辰史「ポストコロナの生命哲学」（集英社新書）
- 2回目 6月10日 中川李枝子「本・子ども・絵本」（文春文庫）
- 3回目 7月 8日 中邑賢龍「どの子ども違う」（中公新書ラクレ）
- 4回目 9月 9日 天島大輔「＜弱さ＞を＜強み＞に」（岩波新書）
- 5回目 10月 7日 R.カーソン「センス・オブ・ワンダー」＋特別寄稿（新潮文庫）
- 6回目 11月11日 新装版 「長田弘詩集」（ハルキ文庫）
- 7回目 12月 2日 姜尚中「それでも生きていく」（集英社）
- 8回目 1月13日 早瀬圭一「聖路加病院 生と死の現場」（岩波現代文庫）
- 9回目 2月17日 村上靖彦「ケアとは何か」（中公新書）
- 10回目 3月10日 鈴木秀子「世界でたったひとりの自分を大切にする」（文響社）

場所 第5会議室（予定）

費用 無料

内容 テキストに書かれていることを解説し、その時々々の課題を考える。（テキストは変更されることがあります。その際はホームページでお知らせいたします。）

担当 水口 洋（玉川聖学院理事・教育相談顧問）

申し込みは以下の URL または QR コードから Form にアクセスしていただき、各講座開講前日までにお申し込みをしておいてください。



※尚、オンラインで開催の場合、いただいたメールアドレス宛に読書会前日までにご案内をお送りします。